



なないろだより



令和7年1月4日(土)
調布なないろ保育園
園長 山口三奈

調布なないろ保育園1月園だより

「暮らし」の現在進行形

新年明けましておめでとうございます。

今年も、子ども達やお父さん、お母さんにより寄り添いながら、みんなで子育ていけるよう園運営を心がけたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

先月、12月は毎年恒例の「お餅つき」を行いました。さくら組の保護者の方に加え、令和4年度に卒園した子のお父さんも助っ人に来てくれて年神様を迎える準備をしました。「よいしょ〜!」の掛け声とともに大勢で臼を囲み交代でお餅つきをする光景は、日本の文化に触れる機会が少なくなってきた今だからこそ尊いと思います。クリスマス・お正月・節分など、季節の変化していく様子が伝わる催しは、これからも子ども達と一緒に大切にしていきたいことのひとつです。

さて、年が明け、普段の保育の傍らで、新年度の準備をゆっくり始める頃になりました。こども達が一つ大きくなってお部屋を移動していく段取りも考えていくのですが、先日、園内の「リーダー会議」という、主として園運営にコアに携わっている職員の打ち合わせの中で、「本年度はどんなことに力を注ぎ、令和7年度に何を繋げていくべきか。」などを話し合いました。乳児クラスでは、令和6年秋にフロア全体を開放し、往来して遊べるよう工夫したことで、一人ひとりが遊びたい場所を見つけたり、興味のある遊びをとおして異年齢で関わるのが自然発生的に増えてたりしました。また幼児クラスでも、月一回の異年齢活動「わくわく♪」をとおして、クラスだけではない友達との関わりや、好きなことを継続して遊び込む面白さなどを体験しました。

乳幼児にとっては「遊び」が暮らしそのもの、学びの原点です。保育園という集団の中での育ちは、一見ごちゃごちゃに見えても、こども一人ひとりの目線からすると、ある意味整然と感じていて、相手の気持ちに触れたり、空気感を読み取ったりしながら、一緒に暮らすうでのルールや遊びを構築しています。お互いの刺激や交流をとおして、人のしていることを真似ながら自分なりに身につけ(まねぶ)、自分から能動的に行動していく(まなぶ)様子をおとなが知れることがより増え、職員同士で楽しそうにこども達の話題を共有している姿を見ると、今の保育の方法で得たことは、小学校に行ってから学習や人との関わりに必ず寄与していくと安心していきます。令和7年も、みんなで幸せに暮らしていけますように。



お餅つき



ひまわり組バス遠足からの「博物館」ごっこ



1月生まれのおともだち

2歳になります 2人
4歳になります 1人
5歳になります 5人
6歳になります 1人



- 【1月】 6日(月) 巡回指導 SV
- 9日(木) 健康診断 (0)
- 10日(金) 鏡開き
- 16日(木) 誕生会
- 17日・24日(金) 太鼓・エイサー指導 (4・5歳児)
- 18日(土) 縁庭開放
- 21日(火) お茶指導 (5歳児)
- 22日(水) わくわく♪異年齢交流
- 23日(木) おつかフェ
- 28日(火) カランコエの花かご (3歳児)
- 29日(水) 素話の会 (4・5歳児)
- 31日(金) さくら組クラス懇談会 (16時~17時) /おつかレー



- 【2月】 1日(土) 保育講座
- 4日(火) もうすぐ一年生 (5歳児)
- 6日(木) 健康診断
- 13日(木) ラメのパンタロン観劇会
- 14日・21日・28日(金) 太鼓・エイサー指導 (4・5歳児)
- 15日(土) 新入園児健診/全体保護者会
- 17日(月) 巡回指導 SV
- 18日(火) お茶指導 (5歳児)
- 19日(水) おつかレー
- 20日(木) 誕生会
- 21日(金) おつかフェ
- 22日(土) 縁庭開放
- 25日(火) つぼみ組クラス懇談会 (16時~17時)
- 26日(水) すみれ組クラス懇談会 (16時~17時)
- わくわく♪異年齢交流
- 27日(木) たんぽぽ組クラス懇談会 (16時~17時)
- 28日(金) ちゅーりっぷ組クラス懇談会 (16時~17時)



- ・12月 1日 OO(保育補助)が入職いたしました。
- ・12月31日付 OOが退職いたしました。



縁庭改築のあゆみ・・・

ご縁が繋がっていく、お庭になりますように・・・

今のなないろ保育園の縁庭（園庭）には、冒険ハウスにポンプ山、トムソーヤなどの遊具や桜やどんぐり、金柑や葡萄、オシロイバナやミント、そして最近ではユズリハやハナミズキ、ヤマボウシなどの木々も加わり、季節を彩るようになってきました。子ども達はその中で色々な遊び場所を見つけ、発見をしたり、探索をしたり、何かに見立てたり、くぐり抜けて走り回ったりと、大人が思い描いていた以上に楽しんで遊び、「今日は何して遊ぶ？」と聞くと、「縁庭で遊びたい！」と言う程、大好きな庭になってくれているようです。令和2年度改築前のなないろ保育園の縁庭をご存知の方は年々卒園児が増えていく毎に少なくなっているのではないのでしょうか。改築前の縁庭は、今もあるトムソーヤの他にすみれ組のテラスの前に砂場があり、外壁フェンスに沿うようにしてその隣りにブランコと雲梯が並んで建っていました。



その頃は縁庭の遊びにも様々なルールがあり、今のようにどこでもいつでも自由に水遊びもしていませんでしたし、スクーターにも遊びの制限がありました。保育をしていく中で、これっておかしくない？ということをおもひ始め、子ども達の生活や遊びから立ち返り、「へんてこルール探し」を始めました。へんてこルールをやめるようになると、子ども達にとっての魅力ある園庭ってどんな場所なんだろうということになりました。ここから、保育園の縁庭改築がはじまりました。月一回行っている園内研修の中で・・・

『子どもや大人が楽しい！遊びたい！と思う縁庭はどんな環境だろうか。』

『子ども達にどんな遊びをさせたいか。どんな力がついて欲しいか。』をもとに考えていきました。

- 自然が豊かで広々と気持ちの良い縁庭
- 四季をかんじることができる縁庭
- 実のなる樹木のある縁庭
- 昆虫が集まる縁庭
- いろいろな感触に触れられる縁庭（泥・砂・水・芝生など）
- 日陰ができる木のある縁庭
- 凸凹のある縁庭
- 死角もある程度あり、隠れることができる場所のある縁庭
- 体幹が鍛えられる縁庭
- 子どもが遊びを選べる縁庭
- 子ども達が工夫できる縁庭
- 「科学」「発見」のある縁庭
- 発展性のある遊びができる縁庭
- 挑戦できる縁庭
- 遊びが継続できる縁庭
- わくわく・ドキドキ・ハラハラすることができる縁庭
- 登る・揺れる・渡る・跳ぶなど、四肢を十分に使う遊びが出来る縁庭

職員からはこのような意見が出て、これらの意見を形にするために、その後も話し合いを重ねていきました。

そして、園内研修の中で話し合いを重ねていながら令和2年度第一弾として、砂場・ブランコ・雲梯からの冒険ハウスとポンプ山（命名は令和2年度さくら組）への改築でした。そして、今まさに話し合いを進めているのが、トムソーヤの今後、第二弾の縁庭改築です。

第一弾の改築が始まる際、トムソーヤは撤去して緑化していくなどの方向性でいました。その時点では、子ども達の遊びの姿を見ていて、トムソーヤの役目は経年劣化も含めて、もう終わったかのように見えていたのですが・・・

冒険ハウスやポンプ山ができてみると、子ども達の遊びの拠点にまたトムソーヤの存在が大きくなってきていることに気付きました。大きいクラスの子達の関心が冒険ハウスに向き、乳児クラスの子達がゆったりとトムソーヤでよく遊ぶようになったのです。また、トムソーヤで遊ぶことによる身のこなしが、いづれ冒険ハウスで遊ぶ時の身のこなしへと繋がっていくということでもあるのです。そうなってくると、トムソーヤはこのまま残したい！という思いが強くなってきました。ですが、トムソーヤも年を重ね、経年劣化が進んでいるため、今後の安全性を考えていくとやはり今のままというわけにはいかないのです。

そこで、

園庭改築第二弾！！ トムソーヤに代わる遊び場を作ろう！ ということ

只今、子ども達の遊びの姿を見ながら園内研修などで話し合いを進め、トムソーヤに備わっていた遊ぶために必要な身のこなしと同じくらいの機能性のある遊び場とはどんなものなのかを話し合っているところです。そして、話し合った結果、このような遊具を作ることにいたしました。



来年には完成予定です。この遊具ができることによって、子ども達がどんなふうに通っていくのか、今からワクワクします。また、縁庭が変わることによって、行事のあり方も少しずつ変化していくことでしょう。なないろ保育園の縁庭のあゆみは、これからも続いていきます♪